

地域連携・医療福祉相談室だより



兵庫県・沖縄県の病院へ看護師を派遣しました

第4波の新型コロナウイルス感染拡大に伴い、総務省より看護師派遣の要請がありました。京都通信病院から明石市立市民病院に3名5月13日～27日の2週間、沖縄県立八重山病院に1名、6月17日～23日の1週間、看護師の派遣を行いました。下記は現地の感染症病棟で活動した看護師からの報告です。

今回派遣先である病院では、COVID-19受け入れの感染症病棟の業務につきました。防護服を着用しての看護ケアは、ほんの数分で全身汗だくになり、予想以上に体力を消耗することを体感しました。また感染区域と清潔区域は厳重に区域分けされており、区域をまたいで自由に行き来することができないため、身体清拭や点滴、検査時の移動、感染廃棄物の廃棄・病室掃除・売店での買い出しまで通常の何倍もの人員と時間を必要とすることを目の当たりにしCOVID-19に対するこれまでの認識の甘さを感じました。

1年以上もの間、こうした緊張と不安が蓄積する疲労の中でずっと看護を提供してこられた明石市立市民病院、沖縄県立八重山病院のスタッフの方々のご苦労は言葉に尽くせないほどであったと思います。しかし、これほど過酷な日々であっても、「いつ退院できるのか」と心配される患者さまや、「後遺症が残るのでは」と不安を抱えている患者さまに常に温かい言葉をかけ、きめ細やかな看護を提供しておられました。

疾患治療や感染拡大防止のみでなく、患者を孤独にさせない、まさに「寄り添う看護」を実践されている姿を見て、今だからこそ自分たちに何ができるか、何をすべきかを再考する機会となりました。今後、この貴重な学びを自部署のスタッフにも伝え、当院が目指す「より寄り添う看護」「感染させない看護」の実践に活かしたいと思います。

派遣に協力した看護師4名です



明石市立市民病院



沖縄県立八重山病院

昨今、第5波の新型コロナウイルス感染拡大により一般診療に制限がかかりつつあります。当院においては、COVID-19感染の患者さまの受け入れは行っておりませんが、地域の基幹病院の下支えができるよう努力してまいります。

尚、当院では発熱患者さまに対しては発熱外来（予約制）で診療を行っております。発熱のある患者さまをご紹介いただく際は予約のため、事前にご連絡いただきますようお願いいたします。

連絡先 TEL 075-241-7170